



令和5年11月2日
北九州国際映画祭実行委員会事務局
北九州市市民文化スポーツ局

報道機関各位

「北九州国際映画祭」 松尾スズキ監督 及び タナダユキ監督による セレクション作品の上映会の実施が決定！

令和5年12月13日～17日に開催する「北九州国際映画祭」の期間中、北九州市ご出身の松尾スズキ監督及びタナダユキ監督がセレクションする作品の上映会の実施が決定いたしましたので、お知らせいたします。

1 企画概要

(1) 松尾スズキ監督セレクション作品上映会

映画監督、作家、演出家、俳優とマルチに活躍する北九州市出身の松尾スズキ監督に、ご自身が携わられている作品の中からセレクションいただいた1作品を上映いたします。

また、同作品に対する想い、見どころなどを語っていただく、北九州国際映画祭でしか観られないスペシャルビデオメッセージも併せて上映いたします。

ア 上映日

令和5年12月17日（日） ※ 上映時間は別途お知らせいたします。

イ 上映会場

J:COM北九州芸術劇場・小劇場

(2) タナダユキ監督セレクション作品上映会

映画監督であり、脚本家である北九州市出身のタナダユキ監督に、ご自身の監督作品の中からセレクションいただいた1作品を上映いたします。

また、当日はタナダユキ監督にご登壇いただき、作品に対する想い、見どころなどを語っていただきます。

ア 上映日

令和5年12月14日（木） ※ 上映時間は別途お知らせいたします。

イ 上映会場

小倉昭和館

2 松尾スズキ監督セレクション作品上映会

(1) 松尾スズキ監督プロフィール

1962年12月15日生まれ。福岡県出身。

作家、演出家、俳優。1988年大人計画を旗揚げ。
多数の作品で作・演出・出演を務める。

97年舞台「ファンキー！～宇宙は見える所までしかない～」で第41回岸田國土戯曲賞受賞。

08年映画「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」で第31回日本アカデミー賞最優秀脚本賞受賞。

小説「クワイエットルームにようこそ」「老人賭博」
「もう『はい』としか言えない」は芥川賞候補に、
主演したテレビドラマ「ちかえもん」は第71回文化庁
芸術祭優秀賞ほか受賞。

19年には正式部員は自身一人という「東京成人
演劇部」を立ち上げ、「命、ギガ長ス」を上演、同作で
第71回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。

20年よりBunkamuraシアターコクーン芸術監督、
23年より京都芸術大学舞台芸術研究センター教授に就任。



(2) 上映作品『恋の門』

蒼木門は石で漫画を描く自称「漫画芸術家」。当然食えない。門はバイト先のOL証恋乃とふとしたきっかけから、一夜を過ごす。しかし、翌朝目覚めて見ると、全身ヘンな格好をさせられていた。恋乃は帰宅後は同人誌漫画家へ変身するコスプレイヤーだったのだ。最悪の出会いだったが、二人は下心から惹かれあっていく。しかし漫画バーを経営する元売れっ子漫画家の中年・毬藻田が二人の恋路に立ちふさがり、3人の恋と未来を賭けたマンガバトルが始まった！



(C)2004「恋の門」製作委員会

監督・脚本：松尾スズキ 原作：羽生生純 撮影：福本淳

メカニック・デザイン&劇中アニメの演出：庵野秀明 主題歌：サンボマスター

出演：松田龍平、酒井若菜、松尾スズキ、小島聖、塚本晋也、小日向文世、
大竹まこと、大竹しのぶ、田辺誠一、片桐はいり、市川染五郎、
忌野清志郎 他

114分 日本 2004年

(3) 松尾スズキ監督スペシャル動画

松尾スズキ監督の初監督作品である『恋の門』に対する想い、見どころなどを語っていただくスペシャル動画を作品と併せて上映いたします。

北九州国際映画祭でしか観られない、松尾スズキ監督ファン、映像制作を志す方は特に、絶対に見逃せない貴重な作品です。

3 タナダユキ監督セレクション作品上映会

(1) タナダユキ監督プロフィール

福岡県北九州市出身。映画監督・脚本家。

映画、テレビドラマ、配信ドラマだけでなく、CMの演出、小説の執筆も行う。

2001年に映画『モル』で監督デビューを果たし、2008年に映画『百万円と苦虫女』（脚本・監督）で日本映画監督協会新人賞受賞。

近年の主な作品に映画&テレビ「浜の朝日の嘘つきどもと」（2020・2021年／脚本・監督）、映画『ロマンスドール』（2020年／原作・脚本・監督）などがある。

今回上映となる映画『マイ・ブローケン・マリコ』（2022年／監督・脚本は向井康介氏と共作）は第26回ファンタジア国際映画祭で最優秀脚本賞を受賞、2023年には海外（台湾）でも上映された。



(2) 上映作品『マイ・ブローケン・マリコ』

ある日、ブラック企業勤めのシイノトモヨ（永野芽郁）を襲った衝撃的な事件。それは、親友のイカガワマリコ（奈緒）がマンションから転落死したという報せだった。彼女の死を受け入れられないまま茫然自失するシイノだったが、大切なダチの遺骨が毒親の手に渡ったと知り、居ても立っても居られず行動を開始。包丁を片手に単身“敵地”へと乗り込み、マリコの遺骨を奪取する。幼い頃から父親や恋人に暴力を振るわれ、人生を奪われ続けた親友に自分ができることはないのか……。シイノがたどり着いた答えは、学生時代にマリコが行きたがっていた海へと彼女の遺骨を連れていくことだった。道中で出会った男・マキオ（窪田正孝）も巻き込み、最初で最後の“二人旅”がいま、始まる。



(C) 2022 映画『マイ・ブローケン・マリコ』
製作委員会

監督：タナダユキ 脚本：向井康介、タナダユキ

原作：平庫ワカ『マイ・ブローケン・マリコ』（BRIDGE COMICS／KADOKAWA 刊）

音楽：加藤久貴

エンディングテーマ：「生きのぼし」The ピーズ ©2003 King Record Co., LTD

出演：永野芽郁、奈緒、窪田正孝、尾美としのり、吉田羊

85分 日本 2022年

(3) タナダユキ監督のご登壇

タナダユキ監督に、当作品上映時にご登壇いただき、監督最新作である『マイ・ブローケン・マリコ』に対する想い、見どころなどを語っていただきます。

タナダユキ監督ファン、映像制作を志す方は特に必見の、貴重な機会です。ぜひ、お見逃しなく！

(お問い合わせ先)

北九州国際映画祭実行委員会事務局

市民文化スポーツ局文化企画課

担当：村田、堀池 電話：093-582-2389